

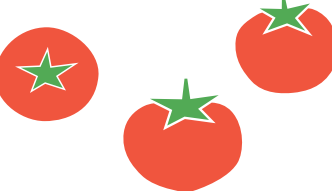
新規就農者におすすめの品目



トマト 新規就農者を募集しています！



萩市では、新規トマト農家となつてくださる方を募集しています。
知識や経験がなくても、最長2年間の現地研修や実践栽培により、トマトの栽培管理を学び安定経営が可能なトマト農家の技術を身に付けることができます。
過去10年間で、10人が新規就農を叶えて、生き生きと暮らしています。



山口あぶトマト高俣支部について

山口県の北東部、標高300～400mに位置する萩市むつみ地域で夏季の涼しい気候を活かし、夏秋トマトの栽培を行っています。
また、部会員全員がエコファーマーの認定を受け、産地全体で減農薬・減化学肥料栽培に取り組んでいます。

- 栽培地域：萩市むつみ地域
- 栽培戸数：25戸
- 栽培面積 約3.1ha（令和6年度）
- 栽培品種：桃太郎、麗夏、麗月
- 出荷時期：6月下旬～11月下旬
- 出荷先：市場（山口県内、福岡県）



こんな仲間を求めています！

- 当面の生活資金や就農に必要な施設、機械等の購入資金を準備出来る方
- 労働力として本人以外で1名以上確保可能な方
- 家族の理解と協力が得られる方
- 研修及び就農時に生活の拠点を萩市に有することができる方
- トマト部会に加入し、積極的に部会活動に参加できる方、心身ともに健康な方（夏の暑さに耐えられる体力が必要です）

おすすめする理由！

- JAの販売体制が整っています
 - ・市場や消費者の評価も高い、「山口あぶトマト」のブランドを活かして、山口県内ほか、福岡県でも高単価で出荷されるため、安定した経営を行うことができます。
 - ・トマトの選果場が近くにあり、出荷に関する作業を選果場に任せることができるため、夏から秋の農繁期において、収穫作業などの生産の仕事に専念できる環境があります。
- 関係機関のサポート体制が充実しています。
 - ・技術習得に向けた研修の受入体制が整っています。（地域での農業体験・長期研修が受けられます。）
 - ・定期的なトマト栽培講習会の開催やJA等による巡回指導をはじめ、トップクラスの技術を持った生産者から栽培サポートを受けることができます。
- 馴染みやすい
 - ・移住就農者や新規参入者に好意的で、地域に指導農家や若手生産者も多いため、相談しやすい環境です。
- メリハリのある生活ができます
 - ・忙しい収穫期を終えた12月から2月までの3カ月間、自由な時間が取れます。旅行に出かけたり趣味を楽しまれる農家さんもあります。
 - ・新規就農者用の住宅や研修滞在施設を用意しています。

年間の作業スケジュール

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
作業内容	ハウス等施設整備		播種・育苗		定植		灌水・整枝等の管理						後片づけ		
			ほ場準備					収穫							
	期間A				期間B			期間C（農繁期）						期間A	

一日のスケジュール（例）

時	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
期間A			ほ場準備 播種・育苗					休憩	ほ場準備 播種・育苗							
期間B			芽かき・誘引・摘果・防除・追肥・かん水					休憩	芽かき・誘引・摘果・防除・追肥							
期間C (農繁期)		収穫・選果作業						休 憩			葉かき・誘引・摘果・消毒・追肥					

※個人の経営形態によって作業方法や作業時間等の違いがあります。

目標経営モデル

（中古ハウス導入 中堅農業者レベルの目標単収）
栽培面積：30a（3000㎡）
労働力：2名（本人+お手伝い）



生産量	30,000kg
単収（10a）	10,000kg
単価	297円/kg
販売金額（生産量×単価）	8,910,000円
経費	5,346,000円
所得	3,564,000円

※単収は、天候・個人の技能・栽培スキル等で変動します。
※管理不足の場合には生産量が下がります。



豊かな大地で農業をはじめよう！



夢を持って農業をめざすあなたを応援します！

萩市新規就農応援ガイド



〒758-8555 山口県萩市大字江向510番地
萩市農林水産部 農政課 農業振興係
Tel 0838-25-4192 Fax 0838-25-3770 e-mail nousei@city.hagi.lg.jp



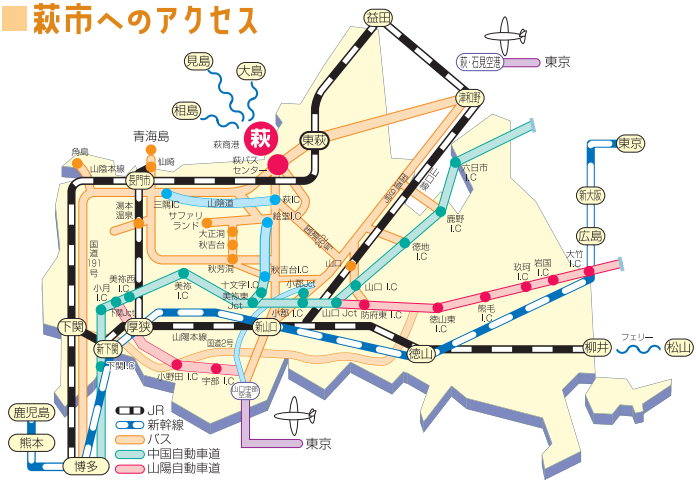
萩市と萩市の農業

萩市ってこんなところです。

萩市は山口県の北部に位置し、日本海と中国山地に囲まれた、自然豊かで歴史情緒あふれるまちです。気候は、島嶼部、沿岸部においては、対馬暖流の影響を受け比較的温暖であり、中山間部においては、盆地特有の気候で、変化に富んだ自然豊かな環境を有しています。

また、「江戸時代の地図がそのまま使えるまち」といわれるほど、城下町のたたずまいが今なお現存し、幕末には、吉田松陰、高杉晋作、伊藤博文など維新の志士たちを輩出した「明治維新胎動の地」として知られています。

■萩市へのアクセス

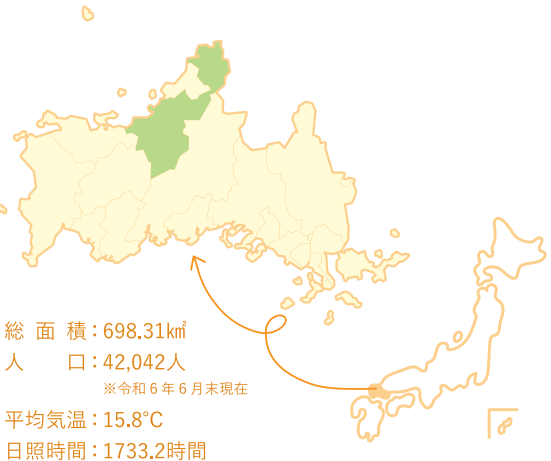


- 車** ●中国自動車道 → 美祿東JCT経由 小郡萩道路絵堂I.C.から20分
- 新幹線** ●JR山陽新幹線 → 新山口駅 スーパーはぎ号(直行バス)約60分
- 飛行機** ●羽田空港 → 萩・石見空港 乗合タクシーで約75分
- 羽田空港 → 山口宇部空港 乗合タクシーで約75分

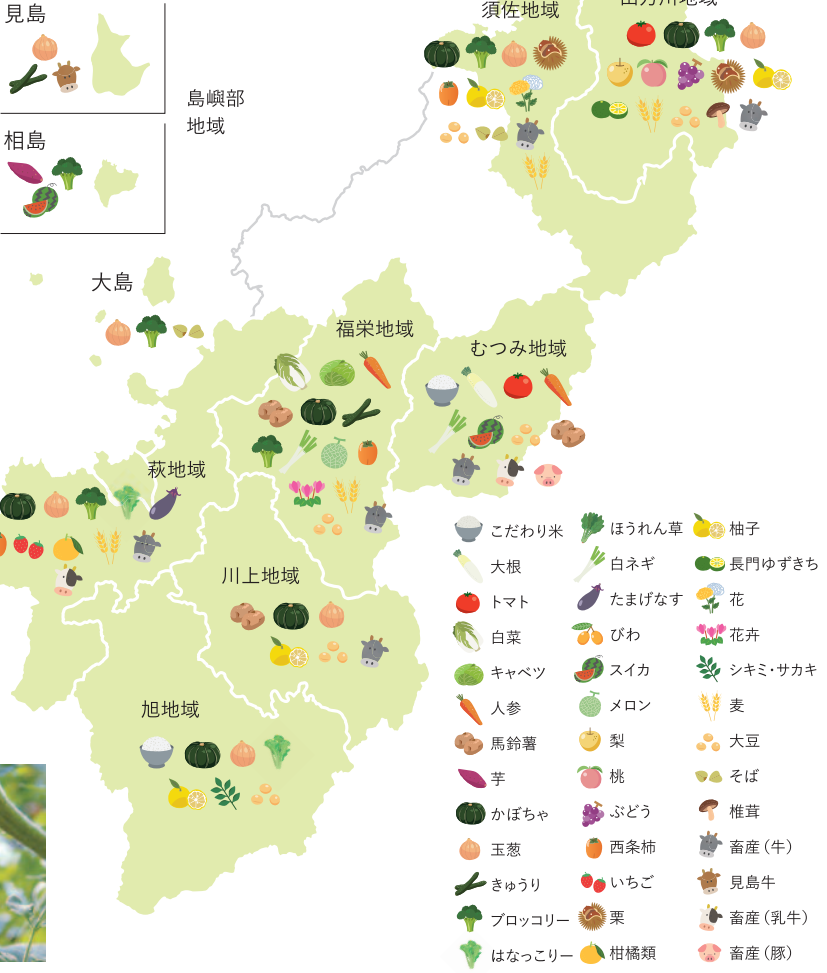
萩市の農業は

県下屈指の農業地域と位置づけられており、米を基幹作物とし、コシヒカリ等の高品質米の生産に力を入れています。また、県内最大の産地である「千石台だいこん」や「山口あぶトマト」のほか、伝統野菜の「萩たまげなす」、「相島スイカ」、「夏みかん」、桃・梨・ぶどうなどの「平山台の果樹」などバラエティに富んだ品目が生産されています。

また、肉用牛の繁殖・肥育経営といった畜産業も盛んな地域で、「黒毛和牛」の産地としても知られています。



■萩市の農産物生産マップ



農業を始める前に知っておこう

色々な農業経営

複合経営

複数の作物を栽培する経営体のことをいいます。必要な機械が増えるなど初期の設備投資が大きくなりますが、凶作時のリスク分散をすることが可能になります。萩市ではこのような経営に取り組まれる方が多いです。



単一経営

売上のほとんどを一つの作物が占める経営をいいます。必要な機械や技術は少ないですが、天候不順や病害などで凶作になった場合の打撃は大きいです。



施設園芸

ビニールハウスなどを利用して野菜などの園芸作物(野菜類・花き・果樹)を栽培する方法で、天候や外気温の影響を減らして比較的安定した生産ができる農業形態の1つです。小さい面積で高収益を見込めますが、設備投資が大きくなります。



就農形態

農業には自ら経営者になる「独立就農」と、農業法人に勤める「雇用就農」の2種類があります。自分のライフスタイルや価値観にあわせて農業を始めることが可能です。

雇用就農

農業法人等へ従業員として就職する方法です。家族だけで設立したものから、数十人の従業員を抱える法人まであります。

就農初期の多額の準備費用は必要なく、サラリーマンと同じように毎月決まった給料があるのが魅力です。

働きながら、先輩農家から様々な技術・知識を身に着けることができるので就農初心者に人気です。雇用就農を経て、将来独立就農するケースも珍しくありません。

こんな方が向いています

- まずは実際に働いてみて適性を見極めたい!
- 安定した収入を得ながら働きたい!

独立就農

自分が経営者となって農業を営む方法です。農地探しから始まり、作物の選定・栽培、販路の開拓、出荷までの道筋を自らで決め、経営していく必要があります。

土地や農業機械や設備を揃えるために初期費用は掛かるものの、一日の過ごし方や栽培・管理の年間計画を自分の采配で決めることができる魅力があります。

農地・資金・技術の確保に苦労はしますが、自分の確固たる方針や実現したい企画がある人には、向いている働き方です。

こんな方が向いています

- 一国一城の主になりたい!
- 自分のアイデアを実現させたい!
- 一日の過ごし方を自分で決めたい!
- がっつり稼いでみたい!



農業を始めようとしているみなさまへ

就農に対する適正や意欲、現在の準備状況についてチェックしてみましょう。



■農業を始める動機は?

農業は単に植物や動物を育てるだけでなく、販売や資材の購入、機械の取扱い、経理・税務など、農業経営を営むための幅広い知識と能力が必要です。

■家族の理解と協力は得られますか?

今までと生活ががらりと変わりますので、家族の方と十分に話し合って同意を得ることが重要です。一人では能率が悪かったり、単独ではできない作業もあります。家族や周囲に協力してもらえらる人がいますか?

■当面の資金や生活費を確保していますか?

作物や経営規模により異なりますが、農業を始めるには、機械・施設の購入のための初期投資がかかります。また、就農してから安定した収入が得られるまでには、長い期間がかかります。農業で生活できるようになるまで2〜3年から数年を要するため、経営が軌道に乗るまでの当面の生活資金を用意しておきましょう。

■体力があり、心身ともに健康ですか?

夏の暑い中での作業や、繁忙期の長時間労働、重たい収穫物の運搬など、ある程度の体力が必要です。また、天候だけでなく、病害虫の発生など予期せぬ出来事にも「くじけない精神力や適応力」が求められます。

■人とかかわりあいや

地域住民との繋がりは構築できますか?

農業者は、地域で共同作業や季節の行事に取り組んでいます。また、農業では地域の方の協力が必要となることも多くあります。積極的に地域行事に参加し、より良い人間関係を築くことが大切であり、一般的なコミュニケーション能力が必要です。

■根気が必要です。

毎日、土に触れながら地道な作業を繰り返し、作物の成長を毎日見守りながら、天候や土壌の様子も考えて行動していくことが必要不可欠です。日頃からコツコツと何かを育て上げる根気強さが必要です。

就農までの道のり

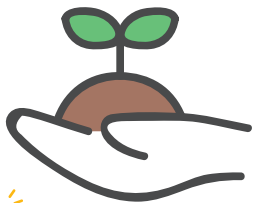
Let's Start Farming In Hagi!

農業を始めたいあなたのために、
萩市では相談から就農まで関係機関が一丸となってサポートしていきます。

農業を
始めたい

地域理解・農業体験

就農準備段階



STEP 1

相談

情報を集める
新規就農者向けの
相談会等に行ってみよう！

情報収集

萩市では、農家の方々と関係団体と連携し、新規就農フェアへの出展や就農ツアーの開催を行っています。
相談会の参加や、就農ツアー等に参加しながら情報収集を行い、自分が目指す農業はどのようなものかはっきりさせていきましょう。

- 首都圏等就農相談会
- 県内新規就業ガイダンス
- 就農ツアー・産地見学会等



相談（随時受付）

就農を始めるに当たっての疑問や各種支援制度、農地に関することなど就農についての総合的な相談に応じます。

- 萩市の農業の紹介
- 農業体験先の紹介
- 各種支援制度の紹介
- 農業法人等の求人情報の提供



STEP 2

現地見学・短期農業体験

地域を知る
実際に地域に行って
見学・体験してみよう！

お試し農業体験

農業体験をしたい場合、品目を選びたい場合、農業に対して不安のある方を対象に、先輩農家の下で、1～7日間程度の農業体験を行っています。
実際に訪れて、地域の農業や農村生活を体験し、自分に合うかどうかを確認してみましょう。

【時期】随時

【内容】受入時期に応じた栽培管理

【日数】1～7日間程度

（時期や日程は要相談）

助成

県外からの参加者は交通費等の助成が受けられます。

現地就農体験等支援事業〔市〕

県外在住者が就農活動として萩市に訪れる際の旅費交通費の一部を助成します。

●県外在住の就農希望者

【助成額】経費の1/2以内

（上限3万円）

【申請上限】1年度につき3回まで

YY!ターン支援交通費補助金〔県〕

農大生等現地研修支援事業〔市〕

萩市内で農業研修を行う県立農業大学校生及びやまぐち就農支援塾研修生に対し、研修に要する宿泊費を助成します。

【助成額】6,000円/泊（上限30泊分）

【申請上限】1年度につき5回まで

山口県立農業大学の研修

「短期入門研修」

- ・平日3日間、農業の基礎知識や農作業、必要な準備などの概要を体験・理解するための研修
- ・年5回程度開催

「作目基礎研修」

- ・日曜日、月1回程度で農業の各品目の基礎知識・技術を学びます。

（問）山口県立農業大学校 0835-38-0510

STEP 3

長期農業体験

農業適性を判断
萩での暮らし・農業を体感し、
就農への道を決定しよう！

長期農業体験

移住就農加速化事業〔県〕

県外在住者が萩市の受入先で一定期間農業体験（現地就農体験）を行う場合に滞在に要する経費の一部を助成します。

●県外在住の移住就農希望者

【助成期間】

1ヶ月（20日以上）～6ヶ月以内

【助成額】12万5千円/月



萩暮らしを体感できます

農業体験や田舎暮らしを体験したい方が利用できる施設があります。

●お試し暮らし住宅

■むつみ地域お試し暮らし住宅

（1泊1,000円から利用可!）

【家賃等】1,000円/日

15,000円～17,000円/月

【利用期間】1日～1年間

【設備】家電完備

■三見駅舎「#さんちゃんち」

■梅屋七兵衛旧宅「#梅ちゃんち」

【家賃等】1組7,000円/1週間

（1泊追加ごとに1,000円加算）

【利用期間】1週間～4週間

【設備】家電完備 WiFi有



就農の
決意

※以下の流れはスムーズに就農するための一般的な流れであり、

必ずしも手順どおりにしなければならないというものではありません。

具体的なスケジュールや研修内容等については、個別相談の上、決定します。

STEP 4

長期研修

技術を習得する
農業技術を身につけるために
研修を受けましょう！

農業技術研修

農業経営を開始するため、少なくとも1年間は、研修機関や指導農家の下で、経営に必要な技術を学びましょう。

1年目は、県立農業大学校で基礎を学び、2年目は、現地の指導農家のもとで、現場感覚を身に付けることをおすすめしています。

①やまぐち就農支援塾担い手養成研修

山口県立農業大学校で、実践的な栽培技術や経営の基礎知識を平日フルタイムで学ぶ研修です。

【研修期間】3月中旬～翌年3月末

②先進農家での現地研修

指導農家の下で、実際の営農規模での栽培技術、農業経営のノウハウを習得します。

※研修期間中要件を満たせば、就農準備資金（国の補助）等を受けることもできます。

就農準備資金〔国〕

●県立農業大学校や県の認める指導農家で

研修を受ける方へ交付

●就農予定時49歳以下

●12.5万円/月、最長2年間

●原則、前年の世帯所得が600万円以下

新規就農者定着促進事業〔県〕 （研修生支援）

●県立農業大学校や県の認める指導農家で

研修を受ける方へ交付

●就農予定時50歳以上

●12.5万円/月、最長2年間

農業スタートアップ応援事業〔市〕

●国県の支援対象とならない農業研修生を

支援（親元研修等）

●就農予定時49歳以下

10万円/月 最長2年間

●就農予定時50歳以上64歳以下

5万円/月 最長2年間

●半農半X実践者等

2.5万円/月 最長1年間

STEP 5

就農準備

就農のための準備をする
～研修期間中に並行して行いましょう～

就農計画の策定

自分がやりたい農業の品目や規模、所得目標など具体的な計画を立てます。

農地の確保

農業委員や農地利用最適化推進委員の協力により、購入または賃借により農地を確保します。

施設、機械の確保

営農に必要なビニールハウスや機械（トラクターなど）を確保します。

住居の確保

公営住宅や空き家バンクなどの情報を参考に購入または賃借により住居を確保します。

資金の確保

青年等就農資金などを活用し、就農開始時に必要な資金を確保します。

労力の確保

経営が軌道に乗り始めた際の雇用労力について、あらかじめ情報収集につとめておきます。

自営就農（専業農家）を目指す方への支援

経営開始資金〔国〕

- 認定新規就農者の就農直後の経営確立を支援
- 就農時49歳以下
- 12.5万円/月、最長3年間
- 原則、前年の世帯所得が600万円以下

農業スタートアップ応援事業〔市〕

- 国の支援対象とならない新規就農者を支援
- 就農時49歳以下 10万円/月
- 就農時64歳以下 5万円/月
- 半農半X実践者等 2.5万円/月
- 最長3年間（研修期間含む）
- ※半農半X実践者等は最長2年間（研修期間含む）

経営発展支援事業〔国〕

- 新たに農業経営を始める認定新規就農者の機械・施設等の導入を支援
- 就農時49歳以下、補助率3/4
- 上限事業費500万円又は1,000万円



STEP 6

就農・就業

いよいよ農業スタート！
就農後の経営発展へ

自営就農

自ら独立して農業を営む

雇用就農

農業法人等に就職して農業に携わる

就農後も市や県、JA、指導農業士が
フォローアップしていきます。

認定新規就農者の方は
以下のような制度が
利用できます。

認定新規就農者

青年等就農計画（目標とする営農計画）が市長に認定された方
年齢要件：原則18歳以上
49歳以下



青年等就農資金〔国〕

- 認定新規就農者の生産施設の整備、果樹の植栽、家畜の導入、運転資金等に必要な資金を融資
- 無利子、償還期限17年、実質無担保・無保証人

農業中心経営体育成支援事業〔市〕

- 認定新規就農者等が、農業経営に必要な機械・施設等の整備及び中古パイプハウス等の取得・移設・改修及び樹園地の改植費用等の一部を助成
- 49歳以下、補助率1/2以内（上限300万円）
- 50歳以上、補助率1/3以内（上限300万円）

農地賃借料の負担軽減

就農時に農地中間管理事業を活用して借り受けた農地の賃借料について、契約期間の初めの1/2の期間（最長5年間）を無償となるよう補助します。

※支援内容は、申請時の関係例規、予算の状況によって異なります。詳しくは、市担当者へご相談ください。



細田 実さん

前職 料理人
2017年4月就農

経営
品目

イタリアントマト、ニンジン、アスパラガス、ズッキーニ、
ニンニク、オクラ、白茄子、かぼちゃ、じゃがいも など
50種類程度



Q 就農したきっかけ・就農までの道のりは？

「農業人フェア」への参加をきっかけに、人が少なく農地も空いている萩市にビジネスチャンスを感じ、移住就農を決意しました。最初は、市内の農業法人に就職し、農作業の基本を覚えました。法人で働きながら有機農業の栽培技術を学ぶ研究会に入り、有機農業の技術を学ぶうちに、独立して実践しようと思っていたところ、タイミングよく譲ってもらえるハウスが見つかり、2017年4月に独立就農しました。

Q 移住就農後の生活はいかがですか？

基本的には、今までと違う非日常も1か月もすれば慣れ、1年たてば地元の人間です。農業は自営業なので比較的に時間を確保しやすく、地域の消防団に入ったり、地元のお祭りで神輿を担いだり、イベントを手伝ったりしています。地域行事に参加すると意外と楽しいですよ！

Q 農家になってよかったこと・やりがいは？

「作る」という仕事は面白くて、好奇心が満たされます。お客様から「野菜を作ってくれて、ありがとう」と感謝されることがよくあります。買っていただくだけでなく、感謝までいただけて、ありがたい限りと感じています。また、自分も新鮮な野菜をたくさん味わうことが出来ます！

Q 今後の展望は？

人を雇える体力と基盤をしっかり作っていきたいです。また、お店や料理教室など、料理を通して野菜を表現していくことにも取り組んでいきたいです。

Q これから農業を志す方へ一言！

人生の中で、食べ物を作る農業を学ぶ時期が少しあってもいいと思います。まずは興味があれば、やってみましょう。何かを作っていくということは、生きている限りずっと勉強だと思います。私も日々学びながら挑戦しています。一緒に学び合うという気持ちで農業に取り組んでいただけると嬉しいです。

光井 優さん

前職 保育士
2017年6月就農

経営
品目

大根、スイカ、人参、キャベツ、
小松菜、カブ、ケールなど



Q 就農したきっかけ・就農までの道のりは？

前職で保育士している時から、自分で稼ぎたいという気持ちが強く、始めるなら若いうちにと考え、新規就農を決意しました。移住後は、月に1回農大に研修に行きながら、2年間の地元での現地研修を経て、2017年6月に独立就農しました。

Q 移住就農後の生活はいかがですか？

前職では基本的にカレンダー通りの勤務でしたが、今は自分で休みを決める事ができ、プライベートな時間も充実しています。今、暮らしている地域は、人口も少なく、近所のつながりは大切です。移住後は、地域の人たちに自分を知ってもらうため、地域の行事に積極的に参加しています。

Q 農家になってよかったこと・やりがいは？

1番は儲かると嬉しいです。やはり生きて行くためにやっているのも、そこが重要だと思います。美味しい野菜をつくり、消費者に評価されることは喜びに繋がります。また農業は、自分でやりたいようにスケジュールを組み、子どもと過ごす時間も作れるので、生活全体としてとても満足しています。

Q 今後の展望は？

千石台の農地を守り続け、農業を儲かる産業にしていけることが目標です。雇用を生み、少しでもむつみ地域の活性化へ繋げていきたいです。また、やはり自分で作ったものは、自分で販路を開拓し販売できるようにもなりたいです。それが千石台という産地を守ることにつながると思っています。

Q これから農業を志す方へ一言！

農業は作物と向き合う仕事ですが、それ以上に周りの人たちとのコミュニケーションが大切です。仲間たちと一緒に食事をしたり、お酒を飲むなどして周りとの馴染んでいけば、困ったことがあっても相談できる関係が築けます。

高橋 伸匡さん

前職 システムエンジニア
2018年4月就農

経営
品目

夏秋トマト(ハウス栽培)



Q 就農したきっかけ・就農までの道のりは？

自身の働きが「生きる糧に直結する」分野を仕事にしたいと思い、農業を選びました。2016年に、東京から萩市地域おこし協力隊として移住し、むつみ地域の農業とコミュニティ活動の支援に携わりながら、地元のトマト農家で修行を積み、2018年4月に就農しました。

Q 移住就農後の生活はいかがですか？

日の出が始業、日の入りが終業。繁忙期と閑散期がはっきりしており、季節ごとの仕事にメリハリがあります。4月から11月までは農業に従事し、12月から3月はシステムエンジニアの仕事に携わりながら生活しています。仕事以外では、地域の伝統芸能である「むつみ神楽」を楽しむなど、地域の皆さんと共に自然の中で全力で生きる感覚が心地よいです。

Q 農家になってよかったこと・やりがいは？

汗水垂らして活動した成果として、直接食べられるアウトプット(しかも大好きなトマト)を得られることが何よりの喜びです。経営としては天候や市場価格の変動に一喜一憂しますが、高値をつけてもらえると嬉しいですね。これらを踏まえ、自然や社会の風を全身で受けて、「全力で生きている」自分を強く実感できます。

Q 今後の展望は？

夏はトマト農家、冬はシステムエンジニアとして活動し、最新の技術を農業や中山間地域で活用する分野において、萩市むつみ地域が世界に先駆ける存在となり、「田舎のシリコンバレー」と呼ばれる姿を目指しています。

Q これから農業を志す方へ一言！

季節ごとに仕事を変えることができる特性から、夏は共に頑張る仲間と農業で生き、冬は自分の仕事で稼ぐこともできる、自由な組み合わせのメリットを感じていただけるならば、ぜひトマト農家の道を検討してみてください。